

第七十四回帝國議會 衆議院 映畫法案委員會會議錄(速記)第七回

付託議案
映畫法案(政府提出)
著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十七日(金曜日)午後三時四十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 星島 二郎君

理事福田 悌夫君 理事岩瀬 亮君

理事小泉 純也君

鶴見 祐輔君 木村 正義君

高岡 大輔君 赤松 克麿君

小林 三郎君 田原 春次君

伊藤 五郎君 三木 武夫君

紅露 昭君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 侯爵木戸 幸一君

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 漢那 憲和君

內務參與官 中井 一夫君

內務書記官 町村 金吾君

內務書記官 生悅佐求馬君

文部參與官 野中 徹也君

文部省社會教育局長 田中 重之君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

映畫法案(政府提出)

著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案
(政府提出)

○星島委員長 ソレデハ前會ニ引續キ委員

會ヲ開キマス、映畫法案ハ質問ヲ終了致シ

マシテ討論ヲスルコトニナツテ居リマスガ、

暫ク是ハ其ノ儘ニシテ置キマシテ、併託サ

レタ著作權ニ關スル法律案ノ質疑ニ移リタ

イト思ヒマス——鶴見祐輔君

○鶴見委員 私ハ著作權ニ關スル仲介業務

ニ關スル法律案ニ付テ兩三ノ點ニ付、政府

ニ御尋ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、

此ノ際本案ガ提出サレマシタコトハ、洵ニ

時宜ヲ得テ居ルト思フノデアリマス、一方

ニ於キマシテハ、我國ニ於キマスル著作權

ノ保護ト云フコトガ、從來モ十分デナカツ

タト思フノデアリマス、著作家ト云フモノ

ハ其ノ性質上、餘リヤカマシク權利ノ主張

ヲ致スコトニハ不精ナ者デアリマス、隨テ

歐米各國ニ於ケル著作權ト出版者、其ノ他

トノ關係ニ比ベマシテ、日本ノ著作權者トソ

レ以外ノ人々トノ關係ハ、洵ニ遅レテ居ル

ト云フコトヲ私ハ常ニ感ジテ居ツタ者デア

リマス、謂ハバ商賣ヲマダ大福帳デヤツテ

居ルヤウナ状態デアルノニ、諸外國ニ於テ

ハ既ニ簿記ヲ通り過ギテ、計算器デスルト

云フ位進歩シテ居ルノデアリマスカラ、勢

ヒ色々ナ法制ヲ作ラレテ、此ノ缺陷ヲ補ハ

レル必要ガアルト思フノデアリマス、併シ

ソレハ國內ニ於テサウ云フ必要ガアルダケ

デナク、國際的ニ其ノ必要ガ、恐クハ數年

ノ中ニ洵ニ熾烈ニナツテ參ルデアラウト思

フノデアリマス、何トナレバ、從來ハ日本

ノ態度ハ世界各國カラ文化ヲ受入レルト云

フコトデアツテ、或ハ支那、印度、歐羅巴、

亞米利加カラ色々ナモノヲ受取ルコトニ急

デアリマシタケレドモ、是カラ後ハ、恐ク

ハ日本ノ文化ガ世界ニ出テ行ク、吾々ガ與

ヘル地位ニナルト思フノデアリマスガ、其

ノ時ニ何ト申シマシテモ一番先ニ出デ參リ

マスモノハ、文藝其ノ他ノ作家ノ作リマシ

タ思想ノ作品デアリマスカラ、隨テ將來ノ

日本國內ニ於ケル著作權ト云フモノハ、國

際的價值ヲ生ズルコトガ益、盛ニナツテ來ル

デアラウト思フノデアリマス、單ニ物質的

ナ意味カラ考ヘマシテモ、亞米利加ニ於テ

ハ御承知ノヤウニ一ツノ脚本ガ當リマス、

「ユー・ジン・オニール」ノ脚本ノ如キハ一

ニ五十万弗、日本ノ金ニ直スト一ツノ芝居

デ二百萬圓ノ興行權デ收入ヲ得テ居ル、今

日ニ於テハモツト多イノデアリマスカラ、

私ハ將來日本ノ作家ヲ保護スル必要ガ起ツ

テ來ルノデアツテ、ソレガ爲ニハ作家自身

デハ出來マセヌカラ、斯ノ如キ仲介業務ヲ

致ス者ガ出來テ來ルト云フコトハ、時宜ニ

適シタ法制ト思ヒマシテ、本案ノ成立ヲ熱

心ニ希望スル者デアリマス、併シ此ノ法律

ヲ拜見致シマス、吾々ノ疑問トスル點ガ

兩三アリマス

第一ハ本法律ノ目的ニ付デアリマス、

ソレハ何デアルカト申シマスルト此ノ種類

ノ法律ニハ二種類ノ目的ガ豫想セラレルノ

デアリマス、其ノ一種類ハ亞米利加ヤ英吉

利ナドデ洵ニ盛ニナツテ居リマスル文藝代

理人即チ「リテラリー・エトジェント」ト云

フモノデアリマシテ、此ノ種類ノ代理人ハ

作家カラ著作權ノ販賣及ビ料金引上及ビ料

金ノ取立ナドノ依頼ヲ受ケマシテ、之ヲ幹

旋致シマシテ、作家ノ爲ニ成ベク高イ印稅

ヲ、成ベク確實ニ出版業者カラ取立デルト

云フ積極的ナ世話ヲ致シテ居ルノデアリマ

スガ、之ニ反シテ當局者カラ頂戴致シテ居

リマスル參考資料デアリマスル獨逸「ユー

「ゴーストラビヤ」和蘭ノ立法例ヲ拜見致シマス、作家ノ爲ニ積極的ニ周旋ヲスルコトモアリマセウガ、主トシテ法律ノ目的ハ消極的ニ他カラ來ル所ノ權利ノ侵害カラ著作ヲ擁護シヨウト云フ目的ノヤウデアリマス、然ルニ本法ヲ拜見致シマス、凡ソドチラヲ主トシテオイデニナルノデアルカト云フコトガ、私共ニ明瞭ニナリマセヌノデ、此ノ點ヲ先ヅ御伺シテ置キタイト思フノデアリマス

○生悦任政府委員 只今御尋ノ點ハ、本法案ニ依リマスル仲介機關ハ、著作物ノ利用ニ付テ、積極的ノ行爲ヲ以テ其ノ仲介ヲ爲スモノデアルカドウカト云フ御尋デアツタト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ、成程サウ云フ必要モアラウカトモ存ズルノデアリマスガ、只今御指摘ニナリマシタヤウニ、此ノ法案ハ積極的ニ此ノ仲介ニ付テ働キ掛ケルト云フコトハ、マダ其ノ時期デナイト思ツテ居ルノデアリマシテ、取敢ズノ所著作物ノ仲介ヲ致スト云フコトノミニ限局致シテ居ル趣旨デゴザイマス

リマスカラ、只今頂戴致シテ居リマス獨逸「ユーゴーストラビヤ」和蘭ナドノ立法例ハ、主トシテニ限局シテ保護シテ居ルヤウデアリマス、所ガ本法律案ヲ見マスルト、是等三國ト英米トノ折衷案ノヤウニ見エルノデアリマス、ト言フノハ、英米デハ寧ロ音樂等ヨリハ小説或ハ單行本若クハ詩、脚本ナドガ主ノヤウデアリマスガ、本法ニ依リマス、小説ト脚本ヲ御入レニナツテ居ルコトハ、頂戴シテ居ル勅令要綱ニ依ツテ明カデアリマス、所ガ勅令要綱ニ依リマスルト、此ノ中ニ五ツノモノガ擧ゲラレテ居リマス、音樂ニ依ルモノノ外ニ小説ト脚本ガ擧ゲラレテ居リマス、ソコデ私ガ御尋致シタイノハ、若シ音樂以外ニ小説、脚本マデ御入レニナルナラバ、何故モウ少シ範圍ヲ御擴メニナツテ、小説デハナイガ併シ小説ト同ジヤウナ筋書ヲ持ツテ居ル隨筆、ソレモヤハリ侵害サレル危險ノアルモノデアリマス、又歌ノ譜ハ附イテ居ラナイケレドモ、譜ヲ附ケレバ容易ニ演奏シ得ルヤウナ詩歌ト云フモノヲ御入レニナラナカツタカ、此ノ點ヲ御伺致シテ置キタイノデアリマス、詰リ將來御入レニナル御考デアルカ、今日ハ此ノ程度ニシテ置カウト云フ御考デアルカラ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○生悦任政府委員 只今著作物ノ範圍ニ付テノ御尋デアリマシタガ、此ノ法案ニ依リマシテ、仲介機關ガ取扱フコトヲ豫想致シテ居リマスル著作物ノ範圍ニ付キマシテハ、只今御述ニナリマシタ五種類ノモノニ致シタイト云フ大體ノ考デ居リマスノデアリマス、左様ニ考ヘマシタノハ、從來ノ實際ニ徴シマシテ、主トシテ屢々利用サレル機會ガアル著作物デアリマス、尙ホ其ノ利用ノ方法ガ多岐ニ互ルモノ、而シテ、其ノ爲ニ屢々著作權侵害ノ事實ガ起リ易イト云フヤウナモノヲ大體考ヘマシテ、左様ニ致サウト云フコトヲ只今ノ所デハ考ヘテ居ル次第デアリマス、取敢ズ左様ニ致シテ參リマシテ、只今御述ニナリマシタヤウナモノニ付キマシテハ、更ニ將來ニ於キマシテ適當ニ考慮スルコトニ致シタラ如何カト思ツテ居リマス

○鶴見委員 諒承致シマシタ、第三ニ御伺致シタイノハ、本法案ノ第一條ヲ見マスルト、代理又ハ媒介ヲ業トシテ爲ス者ト云フ風ニ書イデアリマシテ、是ガ個人デアアルカ組合デアアルカ、團體デアアルカガ明瞭デナイノデアリマス、寧ロ個人ノヤウニ見エルノデアリマス、政府カラ頂戴致シテ居リマス「ユーゴーストラビヤ」ノ法律ニ於キマシテハ、組合及ビ團體ト明記シテアリマス、又各部門ニ付キマシテ一組合ニ限ツテ之ヲ認メル、斯ウ云フコトニ限局致シテ居ルヤウデアリマス、消極的ノ保護ノ規定ト致シマスナラバ、斯様ニ限局スル方ガ作家ヲ保護スルノニハ適切ナノデハナイカト思フノデアリマスガ、本法律案ヲ立案サレタ當局ニ於カレマシテハ、個人ノ御積リデアリマスガ、或ハ將來團體ヲ豫想セラレテ居ルモノデアリマススカヲ御伺致シテ置キタイノデアリマス

○生悦任政府委員 仲介機關ハ個人デアアルカ或ハ團體デアアルカ、法文ニ依ツテソレガ個人ノモノニモ許サレルヤウニ見エルガドウカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、成程法文ノ文句カラ見マスルト個人ニモ許シ得ルヤウニ見エルノデアリマスルガ、只今御述ニナリシタ外國立法例ノ精神等モ吾々ノ方デハ十分參酌ヲ致シテ居リマスノデ、實際此ノ法律ヲ運用スル場合ニ於キマシテハ、團體ニ對シテ之ヲ許シテ參リタイト云フコトヲ大體豫想シテ居ル次第デゴザイマス

○鶴見委員 第四ニ、御伺致シタイ點ハ、本法ノ第三條ノ中ニアリマスル著作權審査會ノ點デアリマス、只今著作權審査會ト云フノハ凡ソドウ云フ機構ニ依ツテ組織サレテ居ルカラ御伺致シタイ、又先程申上ゲマ

シタヤウニ、將來日本ノ作家ノ作品ガ國際性ヲ持ツテ、或ハ支那滿洲、更ニ歐米各國ニ出ル機會ガ多クナルト存ジマスルカラ此ノ著作權審查會ノ中ニハ左様ナ國際的必要ニ應ズルヤウナ人々ガ今御入りニナツテ居リマスカドウカ、御入りニナツテ居ラナケレバ、將來御入りニナルコトガ必要ト思ヒマスガ、如何ナ御考デアルカ、伺ツテ置キタイノデアリマス

○生悅佐政府委員 著作權審查會ニ付テノ御尋デアリマスガ、此ノ著作權審查會ハ既ニ官制ニ基キマシテ設置ヲ見テ居リマスル既成ノ審查會ヲ此ノ仲介業務ニ關スル諮問機關トシテ活用シテ参リタイ積リデ居ルノデアリマス、現在ノ著作權審查會ノ構成ハ、關係各省高等官及ビ學識經驗アル者ノ中ヨリ其ノ委員ガ任命サレテ居リマシテ、二十五人以內ヲ以テ之ヲ組織スルコトニナツテ居ルノデアリマス、學識經驗者ト致シマシテハ、大體著作物ノ著作者側ニ立ッ人、及ビ著作物ノ利用者側ニ立ッ人々等ヲ網羅シテ居リマシテ、其ノ點ニ於キマシテハ、大體遺憾ハナイト思ツテ居ルノデアリマスルガ、本法案ガ成立致シマシテハ、於キマシテ、若シ只今御述ニナリマシタヤウナ點ニ於キマシテ必要ヲ感ジマシタ際ニハ、適當

ニ考慮致シタイト存ジテ居リマス
○鶴見委員 私ノ質問ハソレデ大體終了致シマシタ

○星島委員長 ソレデハ暫時休憩致シマス
午後四時四分休憩
午後四時三十七分開議

○星島委員長 休憩前ニ引續キ開會致シマス、映畫法案ノ討論ニ移リタイト思ヒマス、討論ハ順序ニ依リマシテ、委員長ヨリ指名ヲ致シタイト思ヒマス——福田君

○福田委員 私ハ立憲民政黨ヲ代表シ、且ツ各派一致ノ協議ニナル左ノ附帶決議ヲ附シテ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス

附帶決議

一政府ハ映畫ノ教育、宣傳、娛樂、報道、産業等ニ及ボス重要性ニ鑑ミ速ニ積極的映畫國策ヲ樹立スベシ

二政府ハ速ニ映畫ニ關スル行政機構ヲ統合刷新シテ其ノ強化ヲ圖ルト共ニ、國立映畫研究機關ヲ設置スベシ

三政府ハ輸出映畫ニ付キ關係各省ノ間ニ緊密ナル聯絡ヲ圖リ、適切ナル一元的檢閲ヲ爲スベシ

四政府ハ映畫ノ輸出獎勵ノ方策ヲ講ズルト共ニ、輸入映畫ニ付キ關係各省統一アル方策ヲ講ズベシ

五政府ハ本法ノ施行ニ當リ登錄ニ關シ遺憾ナキヲ期シ、又十四歳未満ノ者ノ觀覽制限ニ付テハ社會ノ實情ニ反セザルヤウ適當ニ善處スベシ

六政府ハ映畫ノ上映禁止其ノ他ニ關シ訴願、再檢閱等映畫委員會ノ議ヲ經テ、適當ナル方法ヲ考慮スベシ

今回映畫藝術ガ立法ノ對象トナリマシタコトハ、我國文化立法ノ先驅ヲ成スモノデアリマシテ、獨リ我が映畫界ノ爲メノミナラズ、將來ノ文化政策ノ爲ニ喜ビニ堪ヘナイ所デアリマス、願クハ本立法ニ依リマシテ映畫界ハ自ラ深く其ノ國策の使命ニ顧ミル所アリ、又一般社會モ映畫ノ持つ偉大ナル文化の使命ニ付テ認識ヲ新ニスルニ至ラシコトヲ切ニ期待スル者デアリマス、映畫ガ國民藝術ノ分野ニ於テノミナラズ、教化、宣傳、報道等ノ各面ニ互リ國策ノ爲ニ寄與スル所頗ル大ナルモノガアリマスルコトハ、諸外國ガ既ニ前例ヲ示シテ居ル所デアリマシテ、此ノ點ハ本法案審議ニ當リ繰返シ強調サレタ所デアリマス、隨テ私共ハ本案提案理由ニハ雙手ヲ舉ゲテ贊成スル者デアリマス、唯本法ノ施行ニ關スル重要部分ヲ命令ニ讓ツテ居リマスルガ、其内容如何、本法ノ實際運用如何ニ依ツテハ、文化助長

法トナラズシテ、却テ文化阻碍法トナルコトヲ惧レルノデアリマス、即チ一見シテ業者ノ取締ニ偏シテ居ル點ハ、立法技術上已ムヲ得ナイ點モアルノデアリマスガ、全條ヲ通ジテ徒ニ消極ニ墮シテ、積極的保護助長策ノ見ルベキモノガ殆ドナイノハ、洵ニ遺憾トスル所デアリマス、政府ハ本法案ノ審議ノ經過ニ鑑ミマシテ、其ノ邊ニ十分留意サレンコトヲ望ム次第デアリマス、從來我國ニ於ケル文化政策ニ確固タル積極性ノ乏シカツタコトハ之ヲ認メザルヲ得ナイノデアリマスガ、願クハ我國最初ノ文化立法ガ成立セントスル此ノ際ニ當リマシテ、遠大ナル見地ヨリ映畫國策ヲ樹立サレンコトヲ要望シテ已マヌ者デアリマス、是ガ爲ニハ例ヘバ宣傳省ノ如キモノヲ設ケ、以テ映畫行政ノ統一の機構ヲ定ムルガ如キ、或ハ國立映畫研究所ヲ新ニ設置スルガ如キ、當然近キ將來ニ其ノ實現ヲ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、尙ホ良キ映畫ヲ作り、之ヲ國策ノ線ニ副ハシムル爲ニハ、檢閲制度ノ擴充統制ガ必要デアリマス、即チ檢閲機關ヲ統一シ、映畫藝術ニ十分ナル理解アル者ヲ檢閱事務ニ囑託シ、以テ製作手續ノ圓滑ヲ期スルト共ニ、娛樂文化ノ特質ニ背カザルニ努メネバナリマセヌ、特ニ國際的

ニ我國ノ正シイ眞ノ姿ト主張トヲ認識セシムル爲ニハ、海外ヘノ輸出映畫ノ檢閲ニハ制度トシテ外務省等ノ干與ヲ是非トモ必要トスルモノデアリマス

次ニ都市偏重ノ文化ヲ是正シ、文化的ニ惠マレナイ農村ノ人々ノ爲メ、映畫ノ農村ヘノ徹底の普及ヲ要望セザルヲ得ナイノデアリマス、今日映畫ニ接スル者ノ中約七割ハ都會ノ人デアリ、全國一萬一千餘ノ市町村ノ中ニ映畫館ヲ有スル市町村ハ僅カ六百四十餘、他ノ一萬有餘ノ市町村ハ映畫館ヲ有シナイノデアリマシテ、其ノ割合ハ正ニ九割四分五厘ニ當ルノデアリマス、良イ映畫ノ農村ヘノ普及ハ獨リ農村ノ爲ノミナラズ、我國文化ノ堅實ナル發達ノ爲メ其ノ必要ヲ切實ニ痛感スル者デアリマス、其ノ他映畫ノ製作ニ、配給ニ、又ハ上映ニ、或ハ産業トシテノ映畫等ニ付テ論ズベキ幾多ノ點ガアルノデアリマスガ、此際ソレ等ハ省略シマシテ、他ノ同僚諸君ニ譲リマスガ、政府ハ先ニ朗讀致シマシタ附帶決議ノ趣旨ニ深く鑑ミラレンコトヲ特ニ要望致シマシテ、本案ニ賛成致ス者デアリマス

○星島委員長 岩瀬君

○岩瀬委員 私ハ立憲政友會ヲ代表致シマシテ、只今各派協議ノ上成立致シマシタ附

帶決議ヲ附シテ本案ニ賛成スル者デアリマス、本案ハ我國映畫事業ヲ消極的ニ現狀ノ儘ニ立法化シタダケデアリマシテ、少シモ積極的ノ映畫國策ニハ觸レテ居ナイノデアリマス、併シナガラ私ハヨリ徹底的ノ映畫國策ノ樹立ヘノ一步ヲ踏出シタモノトシテ、本案ヲ提案致シマシタ政府當局ニ對シテ、敬意ヲ表スル者デアリマス、唯本會議竝ニ委員會ニ於ケル當局ト委員トノ質問應答ヨリ致シマシテ、各委員諸君ガ映畫國策樹立ノ急務ヲ熱心ニ説イテ居ルニ拘ラス、政府當局ノ熱意未ダ足ラザルノ遺憾ニ思フ次第デアリマス、目下ノ如キ内外重大時局ニ際シマシテハ、國內的ニ國際的ニ有効適切ナル宣傳ヲ必要トスルコトハ申スマデモナイノデアリマス、隨テ其ノ最モ效果的ノ宣傳方法トシテハ、何ト云ツテモ映畫以上ノモノハナイノデアリマス、現ニ政府モ各省ヲシテ巨費ヲ投ジテ指導宣傳ノ映畫ヲ作ラシメテ居ルノデアリマスガ、各省割據ノ弊ハ、同ジ政府ノ宣傳デアリナガラ、類似、重複、無味乾燥、所謂官廳映畫ノ譏ヲ免レナイ狀態デアリマス、仍テ之ヲ統一ト連絡ヲ與ヘテ、加フルニ他ノ各種宣傳機關ヲモ總括統合シテ之ヲ一省ニ收メテ、内文化ノ向上ヲ圖リ、産業ノ振興ニ資スルト共ニ國論ノ統

一ヲ圖リ、外誤レル諸外國ノ認識ヲ是正スベキデアルト思フノデアリマス、宣傳省ガ豫算其ノ他ノ關係上出來ナイト致シマシテモ、少クモ各委員ノ一致シテ要望シテ居リマスル内閣直屬ノ映畫局位ハ至急ニ設置シテ然ルベキモノト思フノデアリマス

其ノ次ニ只今福田委員モ申シマシタ通り、良イ映畫ハ進歩シタ技術ト科學トカラ生レルノデアリマシテ、今日は等ノ技術者ヲ養成スベキ權威アル機關モナケレバ、科學的施設ノ見ルベキ何モノモナイノデアリマス、仍テ私ハ茲ニ俳優及ビ技術者ノ養成ニ對シテ國立映畫學校、文化映畫ノ製作指導ニ關シテハ文化映畫製作研究所ノ設置ガ必要ト思フノデアリマス、只今附帶決議ニアリマス通り、少クモ國立映畫研究機關ノ設置ヲ一日モ早く實現スルヤウニ要望シテ止マナイ者デアリマス

次ニ輸出映畫ニ付キマシテハ、日本映畫ノ向上ト文化政策ノ見地カラ當然是ハ保護獎勵スベキモノト思ヒマス、附帶決議ニモアリマス通り、特ニ政府ノ慎重ナル善處ヲ要望シテ已マナイ者デアリマス

最後ニ私ハ映畫事業本來ノ性質カラ致シマシテ、公益性ヲ有スルモノデアリ、且ツ其ノ公益性ガ年ト共ニ重要サヲ増シテ參ル

ノデアリマシテ、之ヲ現在ノ如ク自由主義的ニ利潤追求ノ事業トシテ放置スルコトハ如何カト思フノデアリマス、仍テ政府ハ將來映畫事業法ノ制定等ニ付テ、眞ニ考慮ヲ拂ツテ戴キタイト思フノデアリマス

以上私ノ意見ヲ申上ゲテ此ノ附帶決議ニ對シ、政府ノ慎重ナル善處ヲ要望シテ、本案ニ賛成スルモノデアリマス

○星島委員長 赤松君

○赤松委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表シマシテ、附帶決議ヲ包含シタル本案ニ贊意ヲ表スルモノデアリマス、此ノ法案ガ我國ノ文化立法トシテ劃期的ノ意義ヲ有スルコトハ申スマデモアリマセス、此ノ法律ガ、今後ノ映畫事業ノ爲ニ、其ノ取締ト云フ意味ヨリモ、寧ロ日本ノ文化ヲ向上スルト云フ積極的ナル意味ニ於テ、十分活用スルヤウ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此ノ見地カラ致シマシテ、例ヘバ登録制度ニ於キマシテモ、登録ト言ヘバ、如何ニモソレニ依ツテ俳優其ノ他ノ從業員ガ取締ヲ受ケルヤウナ印象ヲ與ヘルノデアリマス、勿論一方ニ於テハ取締ノ意味モアリマスケレドモ、他方ニ於テハ今マデノ社會的不遇ノ位置ニアツタ映畫從業員ヲ保護シ、社會的地位ヲ與ヘル、サウシテ業ニ安ンジテ、良

イ立派ナ映画ヲ作ラセルヤウナ、積極的ナ保護制度ノ意味ニ活用シテ貰フ方ガ妥當デアルト思ヒマス、ソレデ保護制度トシテノ登録制度ヲ通ジテ、今マデ非常ニ生活程度ノ低イ従業員ニ對シテ、最低賃銀制ヲ施行スルトカ、或ハ退職資金ヲ支給スルトカ、其ノ他今マデ映画従業員ノ受ケタル様々ノ不合理ナル制度ヲ、寧ロ登録制度ヲ通ジテ改善スル、登録ヲ受ケタ者ハ、文化的戰士トシテノ新シイ位置ヲ與ヘラレト共ニ、生活モ保障セラレ、各其ノ所ヲ得テ、安シジテ立派ナ映画ヲ作ルヤウニ、登録制度ノ社會的意義ヲ十分發揮シテ貰ヒタイト思フデアリマス、サウ云フ見地カラスルナラバ、登録制度ノ範圍モ成ベク擴大シテ、狹義ニ解釋セズ、廣義ニ解釋シテ戴ク、サウシテ今マデノ映画従業員、例ヘバ俳優等ニ於ケル格段ノ差別ナドモ漸次ニ是正スルヤウニシテ貰ヒタイト思フデアリマス、又此ノ登録ハ今後大日本映画協會ニ於テ行ハレルサウデアリマスガ、之ニ成ベク大日本映画協會内ノ技能委員會ガ十分發言權ヲ持ツヤウニシテ貰ヒタイ、從來ノ企業家達ノ會デハ、今マデノ商業主義的ナ弊害ガ登録ニ關シテ反映スル虞モアリマスカラ、純然タル技能委員會ノ發言ヲ、十

分認メテ貰フコトガ妥當ナル檢閲ノ執行ニナルノデハナイカト思フデアリマス、ソレカラ又檢閲ニ付テ今マデ委員、政府間ノ質問應答ニ依ツテ、大體政府ノ檢閲ノ御方針モ了承シタノデアリマス、其ノ精神ヲ十分酌ンデ貰ツテ、檢閲ハ何處マデモ一元の機關ヲシテ行ハシメル、而シテ從來ノ如ク、或ル一部分ニ偏シタ小乘の見地カラデナク、大乗の見地カラ檢閲ヲシテ貰フ、又上映禁止ノヤウナ場合ニ於キマシテモ、成ベク官廳ダケノ一方の意思デナク、出來ルダケ民間側ノ意見モ聽ク、例ヘバ檢閲囑託ト云フモノヲ民間ノ専門家カラ相當選ンデ貰ツテ、其ノ人達ノ意見モ十分聽ク、サウシテ愈、イケナイ時ニ之ヲ「カット」スル、或ハ上映禁止スルト云フ妥當ナ方策ヲ採ラレルコトガ必要ダト思フ、ソレデ今モ御話ガアツタノデアリマスガ、映画事業ヲ從來ノ水物稼業ト言ハレル不健全ナル産業カラ脱却セシメテ、健全ナル經濟的基礎ノアル産業ニ移サナケレバ、決シテ良イ映画ハ生レナイト思ヒマスカラ、此ノ點ハ十分御考ニナツテ戴キタイ、今マデノヤウニ、映画業ハ餘リ芳シカラス産業デアルト思ハレテ、銀行ナドモ餘リ關係シナイト云フ状態ニ對シテ、何トカ適切ナ方法ヲ講ジテ、映画事業ハ極メテ堅

實ナ、健全ナ産業デアルト云フ方向ニ、金融其ノ他ノ方面ヲ御導キ願ヒタイト思ヒマス、又此ノ法律ガ折角生レマシテモ、大事ナ問題ハ映画業者及ビ映画製作者ノ自覺ガ極メテ重要デアリマシテ、今マデノヤウナ商業主義ニ支配サレル映画業者ノ精神ハ、十分之ヲ啓發シナクテハナラス、又映画製作ニ從事シテ居リマス監督、俳優其ノ他モ十分國策的ノ意義ニ目覺メテ、自分達ガ重要ナル國家的任務ヲ擔當スルト云フ眞劍ナル自覺ニ於テ立上ルコトガ、本法ヲ活カスコトデアラウト思ヒマス、サウ云フ方面カラシマシテ、映画従業員ノ爲ノ色々ナ協會ガ今後生レルデアラウガ、十分ニ其ノ意思ヲ尊重シテ之ヲ善導スルヤウニ、政府ノ方デ御協力ヲ御願スルコトガ、私ハ映画事業ノ健全ナル發達ヲ促ス所以デアルト思フデアリマス、以上ノヤウナ希望ヲ附シマシテ、私ノ賛成意見ト致シマス

○星島委員長 田原君

○田原委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ、各派共同ノ決議ノ趣旨ニ賛成ヲシ、本法案ニ賛成シタイト思ヒマス、唯茲ニ二三本法案賛成ニ際シマシテノ意見ヲ追加致シマス、ソレハ第一ハ映画關係従業員ニ對ニ關スル登録問題ニ付キシテハ、赤松委員ノ御説ヲ私ハ支持致シマス、本法案ノ實施ニ當リマシテノ一ツノ不安ハ、取締規定ガ中心ノ如キ感ヲ與ヘマシテ、偉大ナル藝術家ヲ本法案ニ依リ育成指導スル點ノ比較的薄イ點デゴザイマス、映画關係従業員ト一言ニ申シマシテモ、製作所内ニ於テ働ク俳優アリ、監督アリ「カメラマン」アリ、各種技術者ガアルノデアリマシテ、是等ニ對スル保護指導ガ適當ニナサレマスルナラバ、偉大ナル綜合的ナ藝術家ガ輩出シ、是等ノ藝術家ニ依ツテ出來ル映画ガ初メテ國內ノ文化ヲ高メ、又國際的ニモ日本ノ宣傳トシテノ有力ナ武器ニナルト考ヘマス、然ルニ本法案ニ映画關係従業員ニ對スル保護規定ノナイコトハ私共ハ残念ニ思ヒマス、屢々質問ノ途中ニ於キマシテ、色々ナ人ニ依ツテ質サレタノデゴザイマスルガ、政府委員ノ一部ニ於キマシテハ、映画關係従業員ハ世ノ所謂勞働者ニアラズ、隨テ工場法、退職手當法、健康保險法、或ハ勞働者災害扶助法ノ如キモノ適用スル譯ニ行カナイト云フ御見解モアツタノデアリマス、成程藝術家ハ非常ニ見榮ガアリマスシ、又氣ノ弱イ正直者デアリマスカラ、一見致シマスト工業ニ於ケル工場勞働者ノ

如キ氣持ハ持タナイデアリマセウ、ケレドモ現實ニ製作所内ニ於テ製作ニ従事スルニ際シマシテハ、甚シキハ三十數時間連續的撮影ヲスル場合モアリ、モット甚シキハ百時間ニ互リマシテ、連續撮影ヲサセラレタ例モアルノデアリマス、此ノ間ノ食事時間ノ不規則デアルコト、睡眠休養時間ノ不規則デアルコト等ガ禍ヲシ、又製作所内ニ於ケル種々ノ健康保持設備ノ缺陷不足ニ依リマシテ、全映畫從業員ノ中ニハ、或ハ肺結核ヲ病ミ、或ハ過勞ニ依ル負傷等ノ事件ガ屢、起ツテ居ルノデアリマス、是ガ工場勞働者並ノ福利規定サヘモ施行サレナイコトハ洵ニ氣ノ毒デアリマシテ、左様ナ待遇デアリマスル限リニ於テハ、偉大ナル藝術家ノ輩出ト云フコトハ困難デハナカラウカト云フコトヲ惧レマス、隨テ本法實施ニ當リマシテ、本法案ニハ其ノ規定ハ謳ツテハアリマセスケレドモ、例ヘバ命令條項ノ中ニ於キマシテ、或ハ各種ノ取締規定ヲ運用スルニ際シマシテ、工場法ノ中ニ勞働者福利規定ガゴザイマスカラ、此ノ精神ヲ活カスヤウニ、溫イ氣持ヲ持チマシテ、製作ニ従事スル人達ノ待遇ニ對シテ一般ノ御考慮ヲ希望スル次第デアリマス、尙ホ獨リ製作所内ニ於ケル映畫從業員ノミナラズ、全國ニ在

リマスル映畫常設館内ニ働イテ居リマスル人達、是等モ工場法ノ適用モナイ、隨テ又退職手當ノ適用モナク、健康保險法ノ適用モナイノデアリマスガ、長時間屋内ノ仕事ニ従事シナケレバナラス爲ニ、種々ナル健康上ノ問題モ惹起シ勝チデゴザイマスカラ、此ノ點ニ付キマシテモ將來一層ノ保護的取締ヲ御履行下サルヤウニ私ハ希望スルノデアリマス

更ニ深夜業廢止ノ問題ガ命令條項トシテ出テ來ルト思フノデアリマスガ、是モ、十六歲以下竝ニ婦女子ノ深夜業禁止ノミナラズ、五十歲以上ノ老俳優ニ對シマシテモ、同ジク健康ノ見地カラヤハリ深夜業ノ禁止ヲスベキモノデアルト吾々ハ考ヘル者デアリマス、尙ホ所轄署長ノ例外認定事項ヲモ何レハ命令條項ニ謳ハレルト思ヒマスルガ、成ベク之ヲ縮小致シマシテ、明文化シマシテ、濫リニ深夜業ヲ續ケラレナイヤウニシテ貰ヒタイ、特ニ事業家ニ於キマシテハ、忙シイ時ニハ例外ヲ認メテ吳レトカ云フヤウナコトヲ言フニ違ヒアリマセヌガ、忙シイ時ニ例外ヲ認メルト云フヤウナコトニナリマスルト、全然例外ガ本法同様ニナルノデアリマスルカラ、深夜業ハ絕對ニ禁止スルト云フ建前デ今後出シマスル命令モ

制定シテ戴キタイト考ヘルノデアリマス
次ノ問題ハ外國映畫ノ問題デアリマスガ、輸出振興ニ付キマシテ特ニ附帶決議デモ第四項ニ謳ツテアルノデアリマス、併シナガラ是ハ俄ニ日本映畫ヲ直チニ輸出セイト申シマシテモ、商品デアリマスカラ、先方ノ諸外國ノ觀客ノ觀賞慾ヲ唆ルガ如キ優秀ナル映畫ヲ作ラヌ限リハ、到底直チニ輸出ノ獎勵ト云フコトモ不可能デゴザイマセウ、是ハ一面ニ於テ、映畫法ノ運用ニ依ツテ優秀ナル映畫ヲ作ルト云フコトヲ努力スルト共ニ——諸外國ニ於キマシテモ、例ヘバ割當制度ト云フモノガアリマシテ、一例ヲ取リマスト、或ル時期ノ獨逸ハ、亞米利加ノ映畫ヲ七本輸入スル時ニハ、亞米利加モ必ズ一本ハ獨逸ノモノヲ買ハネバナラスト云フコトヲヤツテ居ツタサウデアリマス、日本ニ於キマシテモ、外國カラ入リマスル八十本ノ映畫ト同數ノ映畫ヲ外國ニ出スト云フコトハ實際ニハ不可能デゴザイマセウ、併シ漸次内容ガ良クナルニ從ヒマシテ、少クトモ外國映畫ノ輸入ノ十本ニ對シテ日本映畫ノ一本位ハソレ等ノ外國ニ買取ラシメル、サウシテ漸次内容ガ良クナルニ從ツテ、或ハ二對一ニ或ハ對ニスルト云フ位ノ方法ヲ以テ指導サレマスレバ、日本映畫モ質的向上ガ十

分出來ルト考ヘルノデアリマス、是等モ映畫行政當局ニ於キマシテ十分善處セラレタイト云フコトヲ希望致シマス、次ハ附帶決議ノ第五ノ後半デゴザイマシテ、即チ兒童ノ映畫常設館入場制限問題デゴザイマス、是ハ東京デ云フナラバ、丸ノ内階級、丸ノ内デ映畫ヲ見マス人々ハ、成程子供ヲ家ノ子守ニ預ケテ來ラレルデゴザイマセウ、併シナガラ同ジ東京デアリマシテモ、例ヘバ南千住方面、其ノ他ノ場末ニ居住シテ居リマスル中産階級以下ノ人々、特ニ子守デアルトカ、女中デアルトカ、内儀サント云フモノハ、僅ノ時間ヲ割イテ子供ヲ背中ニオソレガ十四歲以下ハ一律ニ入場ヲ禁止スルト云フコトニナリマス、僅ノ娛樂機關デアリマス是等ノ中産階級以下ニ取ツテノ映畫觀賞時間ト云フモノガ全然奪ハレルコトニナリマシテ、是ハ實際上非常ニ大キナ問題デアリマス、特ニ大都會ニ於ケル場末ノミナラズ、全國ノ小都市及ビ町村ニ於キマシテ、映畫ヲ見マス婦女子ノ實情ヲ見マスト、子供ヲ自宅ニ殘シテ來ルト云フヤウナコトハ到底出來ナイノデアリマスカラ、願クバ此ノ決議ノ趣旨ヲ十分ニ御理解下サイマシテ、適當ニ社會ノ實情ニ即應シタル緩

和策ヲ御考慮ヲ願ヒタイ、例へバ、諸外國ノ例ヲ見マシテモ、兒童ノ入場禁止ヲシテ居ル國ニ於キマシテモ、兩親若クハ信賴アル大人ノ同伴スル兒童ハ此ノ限りニアラズト云フ規定サヘアルノデアリマスカラ、兒童ノ影響ト云フコトノ外ニ、兒童ヲ伴ハザレバ映畫サヘモ見得ナイヤウナ人々ニ取リマシテ、適當ナル一ツノ緩和ノ途ヲ社會ノ實情ニ副フヤウニ御考慮願ヒタイト云フ點ガ第五ノ附帶決議デアリ、之ヲ私ハ希望スル次第デゴザイマス

次ハ映畫委員會ノ運用ニ關シマシテ第六ノ決議ニ現ハレテ居ル意味デゴザイマス、即チ映畫委員會ノ構成ニ當リマシテ私共ノ最モ心配致シマスルコトハ、單ニ取締若クハ教育ノ當局ダケガ中心トナツテ映畫委員會ヲ運用サレルニ於キマシテハ、積極的ノ映畫國策ニ順應スルニハ不安ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマシテ、映畫委員會ノ構成ニ當リマシテ、相當數ノ一般ノ觀客代表トシテノ學識經驗アル者ヲ参加セシメルノミナラズ、或ハ文藝家、或ハ新聞雜誌關係者、或ハ又映畫ヲ製作致シマスル現業員デアリマスル所ノ監督、「カメラマン」、俳優、其ノ他ノ技術者等カラ適當ナ數ノ代表ヲソレゾレノ機關、組織ヲ通ジテ此ノ映畫委員會

ニ反映セシメマシテ、以テ最モ親切ニシテ常識アル映畫監督機關タラシメンコトヲ希望スル次第デゴザイマス、尙ホ既ニ存在シテ居リマスル大日本映畫協會ニ付キマシテ、先般私モ質問申上ゲタノデアリマスルガ、豫算ノ關係其ノ他ニ依リマシテ十分ノ活動ノ出來ナイト云フ御答辯ヲ得タノデアリマスルガ、本法ガ發動シマスルヤウニナリマスレバ、大日本映畫協會トシテハ相當重要ナル役割ヲシナケレバナラスコトニナルノデゴザイマスカラ、是亦大改組ヲ致シマシテ、映畫委員會ニ於ケル民意ノ尊重ト同様ニ、映畫協會ニ於テモ、廣ク映畫愛好者ナリ、映畫現業員關係ナリ、斯様ナル衆智ヲ集メマシテ、映畫行政監督ニ當リマシテ萬遺漏ナキヲ期シテ戴キタイト云フコトヲ希望スルノデアリマス、以上ノ希望ヲ附シマシテ本法案ニ賛成スル次第デアリマス

○三木委員 私ハ第二控室ヲ代表致シマシテ各派共同提案ニ成ル附帶決議ニ賛成ヲ致シマス共ニ、本映畫法ニ對スル賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、同時ニ政府ニ向ツテ聊カ希望意見ヲ申述べテ置キタイト存ジマス、本映畫法ハ其ノ第一條ニ於テ明記サレタル如ク日本映畫ノ質的向上ヲ促スト云フコトガ本法案ノ一大目標ニ相成ツテ居ル

ヤウデアリマスガ、若シ然リトセバ日本ノ映畫ガ何故ニ質的ニ向上シナイノカト云フ核心ニ向ツテ「メス」ヲ揮ハナケレバナラスト思フノデアリマス、日本映畫事業ノ發展ヲ阻害シテ居ルモノハ資本ト技術ト俳優ノ問題デアルト私ハ存ジテ居リマス、資本ニ付テハ資本ノ投下ト資本ノ回收ノ二ツノ側面ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス、投下ノ問題ニ付キマシテハ現在マデノ映畫事業ハ一ツノ水物事業トシテ映畫金融ニ對シテハ殆ド低資ノ融通ヲ缺イテ居ツタ、隨テ甚シキニ至ツテハ日歩五十錢モノ高利ヲ借りテ映畫事業ノ金融ニ充テ、ソレデ映畫事業者ハ良心的ナ映畫ヲ出ス前ニ手取り早ク金ノ取レル映畫ヲ作ルヤウニナルノデアアル、近代「コンマーシャルイズム」ノ弊害ヲ最モ露骨ニ現ハシテ、心中事件ガアレバ直グニ映畫化サレテ「天國ニ結ブ戀」トナリ、又「センセイシヨナル」ナ犯罪ガアレバソレガ直チニ題材ニナル、斯ウ云フ狀態ハ日本ノ映畫事業ノ健全ナル發達ガ阻碍サルハ當然ダト思フ、之ニ對シテ低利資金ヲ融通致シマス

ト云フ見地ニ立ツテ、少クトモ國家ガ映畫事業資本ニ對シテハ其ノ半額位ノ投資

ヲシテ單ナル利潤追求ノ企業カラ解放スルト共ニ、更ニ進ンデ一大國策會社ノ設立ニ向ツテ映畫事業ヲ統制指導サレルコトガ必要ダト存ジマス、更ニ資本ノ回收ト云フ點カラ申シマス日本映畫ハ市場ガ狭イカラ多額ナ資本ヲ掛ケテハ回收出來ナイ、自然非常ニ粗製濫造ニナツテ來ル、斯ウ云フ現狀デハドウシテ日本ノ映畫ガ質的ニ向上シテ海外ニ輸出サレルコトガ望マレヨウ、此ノ爲ニハモット外務省モ商工省モ協力致シマシテ、海外ニ日本映畫ノ市場ヲ獲得シテ、歐米ハ第二ト致シマシテモ、少クトモ滿洲、支那ニ於テハ日本映畫ガ世界列強ノ映畫ト競争シテ其ノ優秀性ヲ確立スルヤウニセナケレバナラスト私ハ思フ、サウシナケレバ日本ノ映畫ニハ一本ニ五萬圓以上ノ製作費ヲ使フコトハ出來ナイ、世界ノ例ヲ見マシテモ、少クトモ五十萬圓、百萬圓ノ金ヲ使ツテ映畫ヲ作ツテ居ルノニ、五萬圓位ノ僅ナ製作費デ粗製濫造ノ映畫ヲ作リマシテモ輸出ニ依ル市場價值ハモタスト思フ、政府ハ我國映畫ノ向上ヲ圖ル爲ニモ更ニ國際的文化宣傳ノ爲ニモ輸出映畫ノ獎勵ニ對シテ徹底シテ保護助成ガ必要ダト考ヘマス、次ニ技術ノ點ニ付キマシテハ、映畫ハ最モ進歩シタ近代技術ノ綜合的所産デ

アルニ拘ラズ、技術、技術者ニ對スル何等ノ研究、養成機關ガ無ク徒弟制度ニ依ツテ技術者ガ養成サレテ居ル、是デハ日本ノ映畫技術ガ進歩シ發達スル理由ハナイノデアリマス、之ニ對シ何カ映畫技術者ヲ養成スル綜合的ナ機關ノ必要ナコトハ論ヲ俟チマセス、又俳優ニ致シマシテモ、日本ノ俳優ハ私ハ出鱈目ダト思ツテ居ル、今日ノ「ダシサー」ガ明日ハ「スター」ニナツテ居ル、斯ウ云フ狀態デハ偶々才能ノアル人ガ發見出來ルカモ知レマセヌケレドモ、偶然ト云フモノハ常ニ期待スルコトガ出來ナイ以上此ノ俳優ニ對スル出鱈目ナ選擇方法ガ映畫ニ影響シ表現サレルデアラウ事ハ論ヲ待タナイ、又俳優ニ對シテ今回ノ如ク登録制度ヲ實施致シマシテ、文化戰線ノ戰士タルノ誇リヲ持タス爲ニハ、ドウシテモ俳優ニ對シテ一ツノ國立俳優學校ノ如キ完備シタ養成機關ヲ必要ト致シマス、俳優ニナル過程ガ今日ノ如キ狀態デアリマシテハ登録制度ヲ採用シタダケデ、彼等ノ質的向上ハ望メナイと思フ、同時ニ彼等ノ生活問題ニ對スル考慮モ必要デアル、俳優並ニ技術者ニ對シテ最低生活ヲ保障出來ナイヤウナ映畫會社ハ政府ガ許可ヲ取消シテ宜イト思フ、サウ云フ會社デ立派ナ映畫ヲ作ルコトノ出來ナイコトハ明白デ

アリマス、政府ノ深キ御考慮ヲ煩ハシテ置キタイ、且又唯一ノ積極的規定デアル選奨規定モ、單ニ名譽ヲ表彰スル文部大臣賞ト云フヤウナモノデナクシテ、「コンクール」ノ如キモノヲ認メ、少クトモ製作費ノ全額、ソレガ出來ナケレバ半額位ハ政府ガ賞金トシテ出シ映畫ノ質的向上ヲ圖ル大キナ刺激ニセナケレバナラスト思フ、次ニ政府ハ國民文化ノ進展ニ資スル爲映畫ノ質的向上ヲ圖ルト云フコトヲ第一條ニ於テ言ハレテ居ルノデアリマス、荒木文部大臣ハ國民文化ト云フモノヲ定義ナサレマシテ、國民ノ物心兩道ニ互ル生活態樣デアルト云フヤウニ御説明ニナツテ居ルノデアリマスガ、私ヲシテ言ハシムレバ文化ト云フモノヲモット精神的ナ、モット價值的ナモノニ解シタイノデアリマス、兎モ角モ文化ノ進展ノ爲ニ映畫ヲ統制ナサルト言フノデアリマスカラ、此ノ委員會ヲ通ジテ政府ノ文化政策ト云フモノヲ明示ニナラナケレバナラナカツタと思フ、何處ヘ日本ノ國民文化ヲ指導シテ行クノカ、何處ヲ目標トシテ行クノカト云フコトニ付テ御説明ガナカツタコトハ遺憾ニ存ジマス、此ノ映畫法ニ依リ事前檢閲トカ、或ハ又映畫ノ種類、數量ノ制限ガ出來ルノデアリマスカラ、内務大臣ハ宜シク此ノ法

ノ運用宜シキヲ得テ、非文化的ナ、或ハ「コンマーシャリズム」ニ墮シタ卑俗ノ映畫ノ製作ニ對シテハ、之ヲ抑壓シナケレバナラスト思フ、「グレシャム」ノ法則ガ映畫ニ於テモ適用サレルノデアリマスカラ、モット内容ノアル、モット生活ニ立脚シタ、モット文化的ナ良キ映畫ノ出現ヲ助成シ惡質ナ映畫ノ横行ヲ抑制スル爲ニ、第九條、第十八條ノ條項ノ御活用アラソコトヲ強く要望致シテ置キマス、更ニ此ノ委員會ノ法案審議ヲ通ジテ見マシテモ、一ツノ條項ヲ見テ、是ハ内務大臣ニ問フベキカ、是ハ文部大臣ニ問フベキカ、是ハ厚生大臣ニ問フベキカト我々自身ガ迷ハナケレバナラス、斯ウ云フコトデハ映畫ヲ國策的ニ利用スルコトハ出來ナイト私ハ思フ、少クトモ斯ノ如キ各省バラ／＼映畫當局ヲ統合シテ、宣傳省ノ設置、若クハ内閣情報部ノ如キ、内閣直屬ノ映畫宣傳部ト云フヤウナモノヲ設ケナケレバ、折角斯ウ云フ文化法ヲ御出シニナリナガラ映畫及ビ宣傳ニ對スル政府ノ認識ハ甚ダ不徹底ト言ハザルヲ得ナイ、近キ將來ニ於テ映畫當局ヲ統一獨立セシメラレンコトヲ強く要望シマス、更ニ本映畫法ヲ通ジテ映畫ノ利用ト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス、本委員會ニ於テモ農村ニ劇場ノ

建設ト云フコトガ盛ニ論議サレテ居リマシタガ、私ハ一般農村ノ大衆ガ映畫觀覽ノ機會ニ恵マレナイト云フコトハ、劇場ガ無イト云フヨリモ「フィルム」ノ配給ガナイカラダト言ヒタイ、文部省ノ援助ニ依リ映畫中央會ト云フモノガ出來テ居マスガ、一年ニ二位シカ「フィルム」ヲ配給シテ居ナイ、劇場ガ無クテモ小學校ヲ利用スレバ地方民ハ映畫ヲ觀ルコトガ出來ル、「フィルム」サヘ無料或ハ極ク安價ニ配給致サレルナラバ、必ズシモ農村ニ急ニ劇場ヲ造ル必要モナイノデアリマス、農村ノ人達ハ實際映畫ヲ觀ル機會ニ恵マレナイ、ソレデ偶々映畫會ノ如キヲ催シマスレバ何里モ先カラ出テ來ルト云フヤウナ狀態デアリマス、文化ト云フモノヲ都會中心ニ考ヘテハイケナイ、農村ノ人達ニモ均シク近代文化ノ恩惠ニ浴サシメネバラヌ、其ノ爲ニハ文部省ハ少クトモ映畫局ト云フ如キ一局ヲ設ケラレマシテ、農村ノ公共團體ニ或ハ學校ニ無料デ「フィルム」ヲ配給スル位ナ積極的ノ政策ヲ御執リニナルノデナケレバ映畫國策トハ申セナイト私ハ思フ、兎ニ角映畫ハ一ツノ商品デアルト同時ニ一ツノ藝術品デアリマスルガ故ニ、單ニ取締ヤ處罰ニ墮シテハイケナイ、ソレガ爲ニハ映畫委員會ノ構成ト云フモノヲ慎重

ニ御考慮相成ツテ廣ク映畫ニ理解アル人々ヲ網羅シテ其ノ運用宜シキヲ得テ戴キタイト存ジマス、結論トシテ日本ノ映畫ガ既ニ質的ニ十分向上シテ居リマスナレバ私ハ本案デ結構デアルト存ジ、満足ノ意ヲ表スルノデアリマスガ、日本映畫ハマダ政府ノ保護助成ヲ必要トスル、日本映畫ハ未ダ國際的ナ映畫ノ「レベル」ニハ遙ニ遠イノデアリマス、然ルニ此ノ映畫法ハ非常ニ消極的ナモノデ取締ト罰則ガ大部分占メテ居ル、私ハ洵ニ遺憾ニ存ズルノデアリマスガ、サリトテ今日マデ映畫ニ對スル何等ノ保護、統制法ガナカツタノデアリマシテ、初メテ斯ウ云フモノガ生レタト云フ所ニ一ツノ意義ヲ見出シテ本法案ニ贊成ハ致シマスガ、政府ハ私ノミナラズ他ノ希望ヲ述ベラレタ議員ノ言論ニ傾聴サレマシテ、本法ノ運用ヲ誤ラズ、更ニ本法ヲ活用シテ映畫ヲ通ズル國民文化ノ進展ニ寄與サレンコトヲ望ミマス

○星島委員長 是ニテ討論ハ終結致シマシタ、採決前ニ先程福田君ヨリ朗讀サレマシタ各派一致ノ附帶決議ニ付キマシテ、政府ノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマスガ、今念ノ爲ニ委員長ヨリ簡單ニ項目ダケヲ申上ゲテ置キマス、第一點ハ映畫國策樹立ノ件デアリマス、第二點ハ國立映畫研究機關

ヲ設置セヨト云フ件デアリマス、第三點ハ輸出入映畫ノ檢閲ノ統制ニ付キマシテ、内務、外務、大藏、其ノ他各省ノ輸出入映畫ニ關シマシテ、一元的ニモツト檢閲ノ擴充統制ヲヤリタイ、第四點ハ輸出ノ獎勵ト輸入ノ統制、第五點ハ登録制、是ハ一寸説明ヲ要シマスルガ、登録ニ依リマシテ自由ヲ害サレナイヤウニ、即チ甲會社ニ登録サレタ者ガ乙會社ニ行ク時ニハ甲會社ノ許諾ヲ得ナケレバ行カレナイト云フヤウナコトノナイヤウニ、又「ニュース・カメラマン」ハ「ニュース・カメラマン」トシテヨリモ新聞記者トシテ、サウ云フコトニ依ツテ面目ヲ傷ツケラレナイヤウニト云フ問題ト、十四歲未満ノ者ニ對シテハ、保護者ガ隨イテ行ケバ入レテモ宜イデハナイカト云ツタヤウナ意味ノ善處方デアリマス、第六點ハ非常ニ金ヲ掛ケタモノガ上映禁止ニナツタ場合、映畫委員會ノ議ヲ經テ何カ途ヲ開ク、訴願或ハ再檢閲ト云ツタヤウナコトハ出來ナイカト云フヤウナ六點ニ付キマシテ、附帶決議ガ附サレテ居リマス、之ニ付テ政府ノ御所見ヲ御願致シマス

○木戸國務大臣 政府ハ只今福田委員ノ御述ベニナリマシタ附帶決議ノ御趣旨ヲ尊重致シマシテ、映畫行政ノ運用ニ適正ヲ期シ

タイト存ジマス

○星島委員長 文部大臣ノ御意見ヲ承リマスレバ結構デアリマス

○荒木國務大臣 今内務大臣カラ政府ヲ代表セラレマシテ大綱ハ申述ベラレテ居リマス、吾々モ積極的ニ今後ノ映畫國策ニ付テハ十分努力致ス積リデアリマス

○星島委員長 ソレデハ之ヲ以テ討論ハ終結致シマシタ、採決ニ入リマス、即チ今回政府提案ノ映畫法案ニ、福田君御朗讀ノ六項目ニ互ル附帶決議ヲ付シテ、御贊成ノ方ノ起立ヲ望ミマス

(總員起立)

○星島委員長 起立總員、仍テ本案ハ可決致サレマシタ(拍手)連日ノ熱心ナル御討議ニ對シマシテ、厚ク感謝致シマス、之ヲ以テ本日ハ散會致シマス、明日ハ午後一時カラ著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案ノ審議ニ移リタイト思ヒマス

午後五時二十四分散會

衆議院映畫法案委員會會議錄第四回
中正誤

頁	段	行	誤	正
一五	三	二六	田村政府委員	町村政府委員

昭和十四年三月十八日印刷

昭和十四年三月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局